

事業シート（概要説明書）

予算事業名		エシカル消費PR事業		事業開始年度		令和元年度	
上位施策事業名		地方消費者行政強化交付金事業費		担当部局名		生活環境文化部	
根拠法令等		消費者基本法・消費者教育推進法		担当課・係名		県民生活課・くらし安全係	
事務区分		■自治事務 □法定受託事務		作成責任者			
実施の背景		エシカルとは英語で、翻訳すると「倫理的・道徳的」という意味です。私たち一人一人が、社会的な課題に気付き、日々の買物を通して、その課題の解決のために、自分は何ができるのかを考え、実践することがエシカル消費の意味です。 例えば、障がい者支援につながる商品を選択する（人・社会への配慮）、地産地消（地域への配慮）、エコ商品を選ぶ（環境への配慮）など、エシカル消費の対象は幅広く、また、国連で採択された持続可能な開発目標（SDGs）のゴール12「つくる責任つかう責任」に関連する取り組みに該当します。 国では、<u>消費者基本計画</u>（消費者基本法）において、エシカル消費の普及啓発を図ることとしています。また、県では、<u>富山県消費者教育推進計画</u>（消費者教育推進法）において、「国際社会の共通目標である持続可能な開発目標（SDGs）を踏まえ、消費行動の及ぼす影響力について理解を深め、環境や人、社会に配慮した消費行動を実践できるよう、実践事例を紹介するなど、消費者の意識の醸成を図る」こととしています。					
目 的 （何のために）		環境や人、社会に配慮した消費行動「エシカル（倫理的）消費」が実践できるよう、消費者の意識を醸成し、県民運動につなげることを目的としています。					
向上が図られると考 えているウェルビーイング指標 の項目		指標① なないろ指標／思いやり		指標② なないろ指標／安心・心の余裕		指標③ つながり指標（富山県）	
事業概要	対 象 （ターゲットとなる県民 等の属性）		全県民（未就学児を除く）			対象者数（全住民に対する割合）	
						96.8万	人（ 96 % ）
	実施方法		☐ 直接実施（直営） ☒ 業務委託 又は ☐ 指定管理 （委託先又は指定管理者：富山県消費者協会 ） ☐ 補助金〔直接・間接〕（補助先： 実施主体： ） ☐ 貸付（貸付先： ） ☐ その他（ ）				
	事業内容 （手段、手法など）		事業内容（箇条書き）		事業費		活動指標
			R6新規事業 あいの風とやま鉄道（車内6ヵ月）、地鉄バス（車内6ヵ月）、路面電車（車内3ヵ月）、電鉄富山駅構内（1ヵ月）でエシカル消費PR広告を掲載		2,954千円		
			富山県消費者大会（R6.10.10開催）において、エシカル消費普及啓発のためのシンポジウムを開催		700千円		
			大学生がエシカル消費について学び、普及啓発に有効な取組を企画、実践し、その成果を発表		396千円		
			地域で消費者啓発の活動を行っている消費生活研究グループによるエシカル消費実践活動		880千円		
			エシカル消費パンフレットの改訂		370千円		
	関連事業 （同一目的事業等）		・食ロス、食品廃棄物削減対策事業【7,130千円・国1/2】（農産食品課） フートバンク活動促進事業、期限間近商品の優先購入促進キャンペーン、「食べきり3015」推進・「食べきりサイズメニュー」の導入促進等 ・とやまエコ・ストア制度普及・拡大事業【1,030千円・国1/2】（環境政策課） レジ袋無料配布廃止に加え、地産地消、エシカル消費の推進などに消費者と協働で取り組む小売店舗を登録する制度				

事業番号：8月25日(日)－②											2024 年度								
事業シート（概要説明書）																			
予算事業名		エシカル消費PR事業									事業開始年度		令和元年度						
コスト		2024 年度（予算）				2023 年度(決算見込)				2022 年度(決算)		2021 年度(決算)							
	事業費	事業費合計		5,300千円		3,718千円		4,419千円		2,000千円									
		事業費内訳 (2023年度分)		・とやま生協、アルビス(株)と連携したエシカル消費PR活動　＜事業費2,226千円＞ ・エシカル消費の普及啓発に関するシンポジウムの開催　＜事業費789千円＞ ・大学生によるエシカル消費の普及啓発活動　＜事業費333千円＞ ・地域で消費者啓発の活動を行っている消費生活研究グループによる古着リサイクル実践活動等　＜事業費370千円＞															
	人件費	担当正職員		0.1	人	760	千円	0.1	人	707	千円	0.1	人	738	千円	0.1	人	730	千円
		臨時職員等			人		千円		人		千円		人		千円		人		千円
		人件費合計		0.1	人	760	千円	0.1	人	707	千円	0.1	人	738	千円	0.1	人	730	千円
		総事業費		6,060千円		4,425千円		5,157千円		2,730千円									
財源内訳		国補助金				千円		1,859千円				千円				千円			
		国補助金の内容			地方消費者行政強化交付金														
		地方債				千円				千円				千円				千円	
		その他の財源 (使用料、手数料など)		5,300千円				千円		4,419千円				2,000千円					
		その他の財源の内容			環境保全基金														
		一般財源		760千円		2,566千円		738千円				730千円							
財源合計		6,060千円		4,425千円		5,157千円		2,730千円											
事業実績	活動実績	【活動指標名】（実績値/目標値）					単位	2023 年度		2022 年度		2021 年度							
		とやま生活協同組合（1店舗）でのエシカルフェア開催期間中における来店者延べ人数（R6. 2/5～2/24の20日間）					延べ人数	6,780/-		6,441/-		-/-							
		アルビス（36店舗）でのエシカル消費啓発イベント開催期間中における来店者延べ人数（R6. 2/14～2/29の16日間）					延べ人数	1,080,000/-		1,080,000/-		1,080,000/-							
		エシカル消費の普及啓発に関するシンポジウム参加人数（R5. 10/12開催） ＜基調講演、事業者の取組事例発表＞					人	150/200		120/200		-/-							
		富山大学生が製作したエシカル消費PRパネルを見た学生数（教育学部棟で展示） ＜半年間のゼミ活動における成果発表＞					人	227/-		-/-		-/-							
		消費生活研究グループによる古着リサイクル実践活動等					回	11/-		6/-		-/-							
	単位当たりコスト		総事業費		／	延べ啓発人数		円	4.1		4.7		2.5						



アルビスでの普及啓発活動

事業番号：8月25日(日)－②			2024 年度																		
事業シート（概要説明書）																					
予算事業名		エシカル消費PR事業		事業開始年度	令和元年度																
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	1 「エシカル消費」という言葉の意味を理解している県民の割合の増加 2 環境に及ぼす影響を考慮して商品を購入する人の割合（「意識する」と回答した者の割合）を※37%以上に増加 ※富山県消費者教育推進計画における評価指標																			
	成果 (目標達成状況)	【成果指標名】（実績値/目標値）	単位	2023 年度	2022 年度	2021 年度															
		成果指標1 エシカル消費という言葉の意味の理解度 <table><caption>成果指標1 エシカル消費という言葉の意味の理解度</caption><tr><th>調査年度</th><th>理解している</th><th>聞いたことがある</th><th>知らない</th><th>無回答</th></tr><tr><td>R5</td><td>29%</td><td>24%</td><td>45%</td><td>2%</td></tr><tr><td>H30</td><td>11%</td><td>14%</td><td>74%</td><td>1%</td></tr></table>					調査年度	理解している	聞いたことがある	知らない	無回答	R5	29%	24%	45%	2%	H30	11%	14%	74%	1%
		調査年度	理解している	聞いたことがある	知らない	無回答															
		R5	29%	24%	45%	2%															
H30	11%	14%	74%	1%																	
富山県消費者協会実施アンケート調査 ▶ R5実施：回答者数1,722人、H30実施：回答者数1,688人																					
成果指標2 環境に及ぼす影響を考慮して商品を購入する人の割合 <table><caption>成果指標2 環境に及ぼす影響を考慮して商品を購入する人の割合</caption><tr><th>調査年度</th><th>意識する</th><th>たまに意識する</th><th>ほとんど意識しない</th><th>無回答</th></tr><tr><td>R6</td><td>51%</td><td>35%</td><td>14%</td><td>0%</td></tr><tr><td>H30</td><td>37%</td><td>45%</td><td>16%</td><td>2%</td></tr></table>					調査年度	意識する	たまに意識する	ほとんど意識しない	無回答	R6	51%	35%	14%	0%	H30	37%	45%	16%	2%		
調査年度	意識する	たまに意識する	ほとんど意識しない	無回答																	
R6	51%	35%	14%	0%																	
H30	37%	45%	16%	2%																	
消費生活に係る県民意識調査 ▶ R6実施：回答者数1,908人 H30実施：回答者数1,565人																					

事業シート（概要説明書）

予算事業名

エシカル消費PR事業

事業開始年度

令和元年度

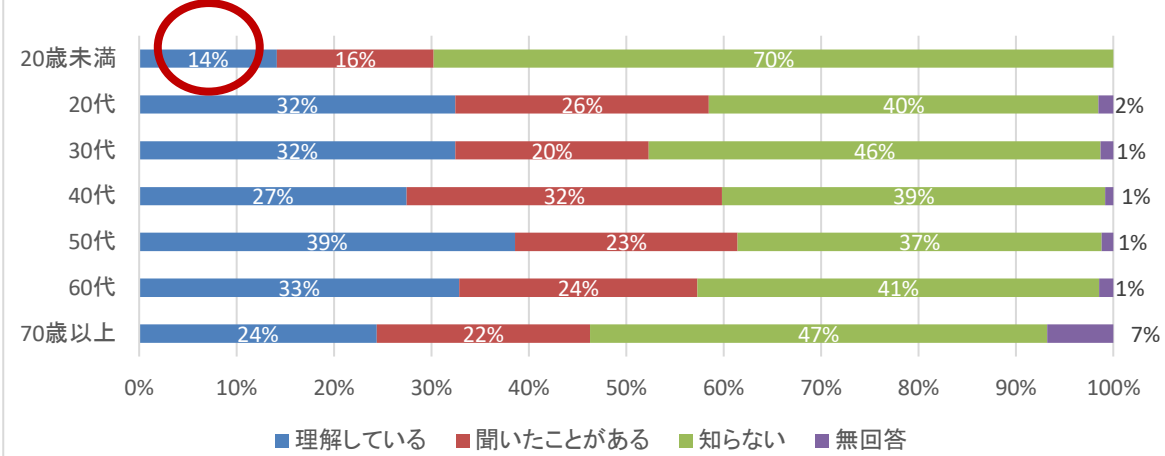
<自己評価>

・エシカル消費という言葉の意味の理解度は11%（H30 調査）から29%（R5調査）となり、18ポイント向上しました。また、環境に及ぼす影響を考慮して商品を購入する人の割合も37%（H30調査）から51%（R6調査）と、14ポイント向上しており、これまでの継続的な取り組みが一定の成果となって表れたものと考えています。

<課題>

・エシカル消費という言葉の意味の理解度は向上していますが、全体の3割に満たない状況であり、特に20歳未満の理解度が、14%と低い数値になっています。

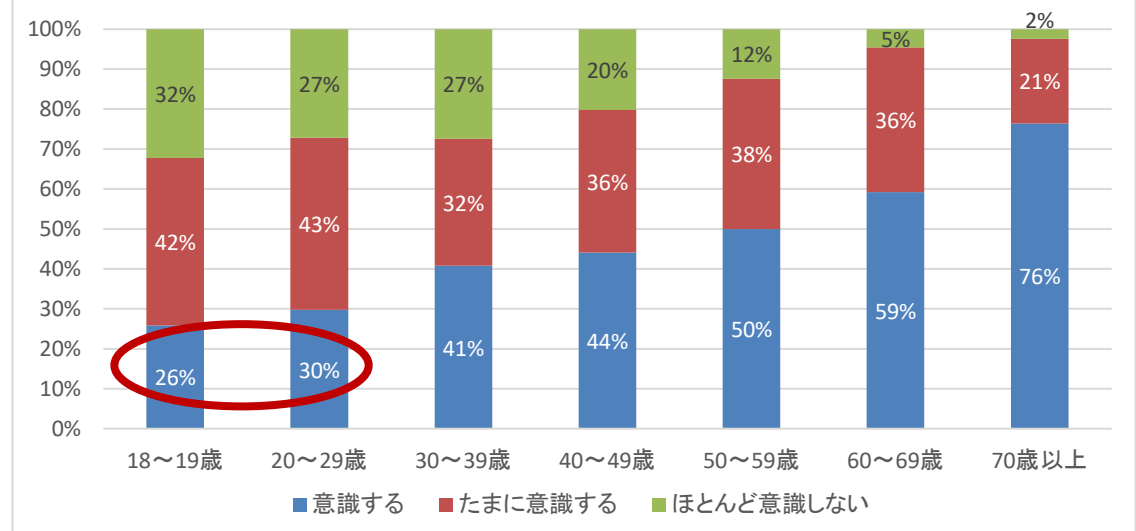
エシカル消費という言葉の意味の理解度（年齢別）



事業の自己評価
(今後の事業の方向性、課題等)

・環境に及ぼす影響を考慮して商品を購入する人の割合が、全体で51%（R6調査）となり、県民の中でエシカル消費行動が定着してきているものと考えます。しかし、年代別にみると、18歳から29歳まで割合は30%以下となっており、特に、若者世代におけるエシカル消費行動の定着が必要です。

環境に及ぼす影響を考慮して商品を購入する人の割合（年齢別）



<今後の方向性>

・R6年度は、幅広い世代に啓発できるよう、公共交通機関利用者を対象とした啓発方法への変更を行いました。今後は、特に、若者世代が自発的にエシカル消費活動を実践しなくなるような普及啓発の取り組みについて検討いたします。

事業番号：8月25日(日)ー②		2024 年度	
事業シート（概要説明書）			
予算事業名	エシカル消費PR事業	事業開始年度	令和元年度
比較参考値 (他自治体での類似 事業の例など)	■福井県 ▶おもいやり消費促進事業 ①Xやインスタグラムを利用したエシカル消費に関するクイズ (エシカル消費の説明や取り組みについて紹介) ②エシカルチャレンジ教室 (小学生親子を対象にエシカル消費をテーマとしたゲームや体験型の学習を通したエシカル教室の開催) ③啓発リーフレットの配布 ④「ふくい おもいやり消費応援団」の登録 (県内の事業者及び団体で、エシカル消費活動を推進する事業者を登録し、優れた取り組みを情報発信する) ⑤エシカル消費普及セミナーの開催 (エシカル商品等の必要性をテーマにしたセミナー開催) ■石川県 ▶エシカル消費普及推進事業費 ①子どもによるフリーマーケットの実施 (子どもが主体的に売買するフリーマーケットを4回程度開催。各回の終わりにエシカル消費の概念をレクチャーする時間を設け、参加者である子どもと保護者に啓発する。また、会場や待機列にエシカルマークを掲示し、マークの普及啓発を行う)		
特記事項			

事業番号：8月25日(日)ー②										2024 年度									
委託・指定管理・補助 対象団体シート（概要説明書）																			
予算事業名		エシカル消費PR事業						事業開始年度		昭和40									
団体名		富山県消費者協会																	
団体への支出根拠 (選定経過等、支出先の妥当性)		県消費者協会は、消費者啓発の推進を基本的な事業目的とする唯一の県域団体であり、事業の実施にあたって必要な消費者啓発に関するノウハウを蓄積していることから、事業の効果的な実施が期待できる。 また、同協会は、営利を目的としない団体で、従来から消費者啓発の業務を受託しており実績がある。																	
当該事業の団体における収支状況	収入					支出													
	国からの財政支出金					千円		報償費		250 千円									
	県からの財政支出金					3,718 千円		賃金		1,571 千円									
	委託料・指定管理料					3,718 千円		旅費		32 千円									
	補助金					千円		需用費		360 千円									
	その他					千円		諸費		46 千円									
	市町村からの財政支出金					千円		役務費		24 千円									
	その他 ()					千円		委託料		1,319 千円									
								使用料及び賃借料		116 千円									
	総計					3,718 千円		総計		3,718 千円									
※委託料は設計ベースのため、収入と一致しない場合あり。																			
団体概要	富山県消費者協会は、消費者に対して正確な知識を普及するとともに、生産者、販売者、消費者三者の意思疎通を図ることにより、県民生活の安定と向上に資することを目的として昭和40年に設立された。 近年、情報化・グローバル化の発展等により消費者を取り巻く環境が複雑化し、悪質商法など消費者トラブルが複雑化・多様化している。また、消費者には、持続可能な社会の実現に貢献する消費行動が求められていることから、関係機関と連携しながら、消費者に対する情報発信事業、普及啓発活動等を実施している。																		
	資本金		0 千円		役職員	(単位:人)		常勤		うち (出向/OB)		非常勤		うち (出向/OB)		監事		うち (出向/OB)	
	県出資金		0 千円			役員		0		0		19		4		2		0	
	出資比率		0 %			職員		1		1		3		0					
団体全体の収支状況	収入					支出													
	国からの財政支出金					千円		事業費		13,681 千円									
	県からの財政支出金					14,705 千円		管理費		349 千円									
	委託料・指定管理料					8,418 千円		人件費		5,179 千円									
	補助金					6,287 千円		その他 ()		千円									
	その他					千円		総計		19,209 千円									
	市町村からの財政支出金					3,780 千円													
	その他 ()					1,213 千円													
総計					19,698 千円		収支差		489 千円										
特記事項																			
財務諸表URL																			